

平成30年 年頭に際して 学校長より

おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。新たに幕を開けた平成30年。今年はどうな年になるのでしょうか。そして、生徒諸君はどうな一年にしようと思っていますか。

世界に目を向けると、ビッグイベントとしては、2月に韓国・平昌で開催される冬季オリンピック・パラリンピックがありますね。

日本においては、平成30年のスタートしたわけですが、天皇陛下の退位により、平成という年号で一年間過ごすのは今年が最後となります。来年は新しい年号のもとに時代を生きることになります。また、AI（人工知能）が脚光を浴び、まさに、大きな時代の変化の中であって、自分を見失わず生きていくことが必要とされる一年となりそうです。

さて、毎年年末になると、その年の流行語だとか、一年を漢字一字で表すとなど、その年々の特徴的な出来事などが思い出されるわけですが、昨年末発表された「漢字一字」はどんな漢字だったか覚えていますか。そう東西南北の「北」という字でした。そもそも、漢字一字で表そうとすることは、実はとても難しいことなのです。そういう中であって話題になる言葉やフレーズは、まさにその時々日本の象徴のようなものです。

では、平成30年、生徒諸君に一つお願いがあります。今年一年をどのようにしていきたいか、その意気込みや願い、あるいはモットーを漢字二字の熟語にしてみてください。二字の熟語に込めた思いを大切に、新しい年をスタートしていきましょう。

ちなみに、私は「感謝」という二文字を今年の言葉としました。恵那南高校で頑張っている生徒諸君に感謝、諸君を支えてくださっている先生方や保護者の方々に感謝、そして、学校を支えてくださっている地域の方々をはじめとした多くの方々に感謝して、この一年を歩んでいきたいと思っています。

実は、昨日私は、バスケットボール部の新人戦地区予選を見学に行ってきました。選手諸君が頑張っている姿を応援しようと駆けつけたわけです。一回戦の相手は恵那高校。ゲーム開始からリードしながら追いつかれても粘ってプレーしていました。10分終了時は同点。その後少し劣勢になりましたが、それでも競り合いながら実に粘りのある戦いをしていました。結果は残念ながら負けてしまいましたが、懸命に粘り強く頑張っている選手諸君に感謝、感謝です。そして、その選手諸君を日々の部活動で面倒見ていただいている後藤先生にも感謝の気持ちでいっぱいです。5月のインターハイ予選では、よりパワーアップしたプレーができると信じていますし、あなた方であれば、その力が十分あります。これからも頑張ってください。

最後に、生徒諸君

日々無事であることに感謝しながら、日々笑顔で、日々円満に、
そして、日々満足できるように準備を丁寧にし、
今の自分が多くの人に支えられているという事実に感謝しながら
今年一年、頑張りましょう。

以上